

医師・看護師増やせ！ ストップ地域医療崩壊・県民集会ニュース

2008年2月12日（火） 発行・集会実行委員会事務局（県医労） No.2

集会への賛同・メッセージ、50団体を超す

陸前高田・中里市長は直筆でメッセージ 前回の首長5は予定1を含む、議長は12人に



賛同・メッセージは、盛岡市から現在決裁にあげている、まだ間に合うかとの連絡があり、それを含めて5首長でした。陸前高田市の中里市長からは、「地域医療の充実は住民全ての強い願いです。共に運動をつよめてまいりましょう。」と手書きのメッセージが寄せられています。議長は平泉町議会議長から届き、12人となりました。また、金ヶ崎診療所所長や老健などの施設長、老人クラブなど50を超える団体から賛同・メッセージが寄せられています。

地域のニュースや要請行動でもこうしたメッセージを活用し、参加者を組織しましょう。

大船渡地域では、東海新報に広告

9日、5面の集会案内を活用し組織を

県医労大船渡支部では、OBと連絡を取り合いながら集会参加者を組織しています。バスの運行は住田経由で行くこととし、陸前高田市からの参加者は住田病院から合流する計画です。これまでの集会でも、地元の東海新報を活用してきましたが、今回も2月9日の5面に集会案内の広告を掲載。連絡先は県医労大船渡支部とし、ファックス等にも対応しています。9日が土曜なのでまだ問い合わせはないようです。残りの数日、多くの人に集会開催を知らせていきましょう。チラシがあと1,000枚あります。必要な団体は事務局の県医労まで連絡をお願いします。



オープニングは大迫の伝説を3話

「人投げ場」は必見です

オープニングは、大迫に伝わる伝説を3話、紙芝居形式で朗読します。なかでも、「人投げ場」は、「姥捨て山」の大迫版で、現在の後期高齢者医療制度にもつながる内容です。もちろん、話者もこの問題に触れます。また、花巻市で活動する「タンポポの会」の皆さんが大型紙芝居を持ち込みます。

